

中長期計画書

平成 28 年度～令和7年度

(令和3年度～**後期計画**～令和7年度)



令和 3 年 4 月

公益社団法人三郷市シルバー人材センター

はじめに

当センターは、21世紀の超高齢化社会に対応した活力ある事業運営を図るため、将来の運営方針と行動計画を盛り込んだ平成28年度からの5カ年を前期計画とした中長期計画を策定しました。

前期計画策定から5年を経て、我が国の高齢化率（総人口に占める65歳以上の割合）は、令和2年9月15日現在、28.7%と過去最高となり、内閣府の「令和元年版高齢社会白書（全体版）」によると「働けるうちはいつまでも働きたい」と考える60歳以上の割合は約4割に達し、現在、日本で仕事をしている高齢者の約8割が高齢期にも高い就労意欲を持っているとのことです。

一方、三郷市の高齢化率は令和3年4月1日現在27.09%で、令和7年頃までの高齢化率は微増するとみられております。

また、少子高齢化の進行による若年層人口の減少は、働き方改革における高齢者の就労促進など高齢者の生活に大きく影響しており、現在の新型コロナウイルス禍にある社会では働き方のみならず経済全体の変化も求められております。

令和3年度から令和7年度までの後期計画では、前期計画を引き継ぎ、会員の安心・安全を第一に、自助努力による財源の確保や発注先の就業ニーズに的確に応えられる会員の技能の向上、地域の特色を生かした事業運営の方法などを考え策定しました。

結びに、本計画の策定にあたり、貴重なご意見を賜りました策定委員や会員の皆様には心より感謝するとともに、会員皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

公益社団法人三郷市シルバー人材センター
理事長 松 島 健 次

目 次

はじめに	1
目次	2
中長期計画（後期計画）策定の趣旨	3
計画策定の期間等	3
後期計画における3本の柱	4
今後5年間の将来推計と目標数値	5
1. 会員数の増強	6
2. 就業機会の拡大・事業の拡大	1 2
3. 安全・適正就業の徹底	1 6
4. 財政基盤の強化と事業運営体制の充実	2 1
資料編	
三郷市の将来人口の推計	2 9
入会時の希望職種と就業実績	3 0
未就業者分析表	3 1
事業実績推移	3 2
会員退会理由	3 3
公益社団法人三郷市シルバー人材センター組織図	3 4
中長期計画（後期計画）策定委員会名簿	3 5
中長期計画（後期計画）策定懇話会出席者名簿	3 5

中長期計画（後期計画）策定の趣旨

三郷市シルバー人材センターは、平成28年度から令和2年度までの5カ年を前期計画とした中長期計画を策定し、これに基づき高齢化社会の担い手としての当センターの役割と将来のあるべき姿を基本目標として定め、各種の施策を継続的かつ着実に実施しました。しかしながら、少子高齢化など当センターを取り巻く環境の変化や新型コロナウイルスの感染拡大により、前期計画の最終年度である令和2年度は、目標数値に設定した会員数、契約金額はともに大きく乖離かいりしました。

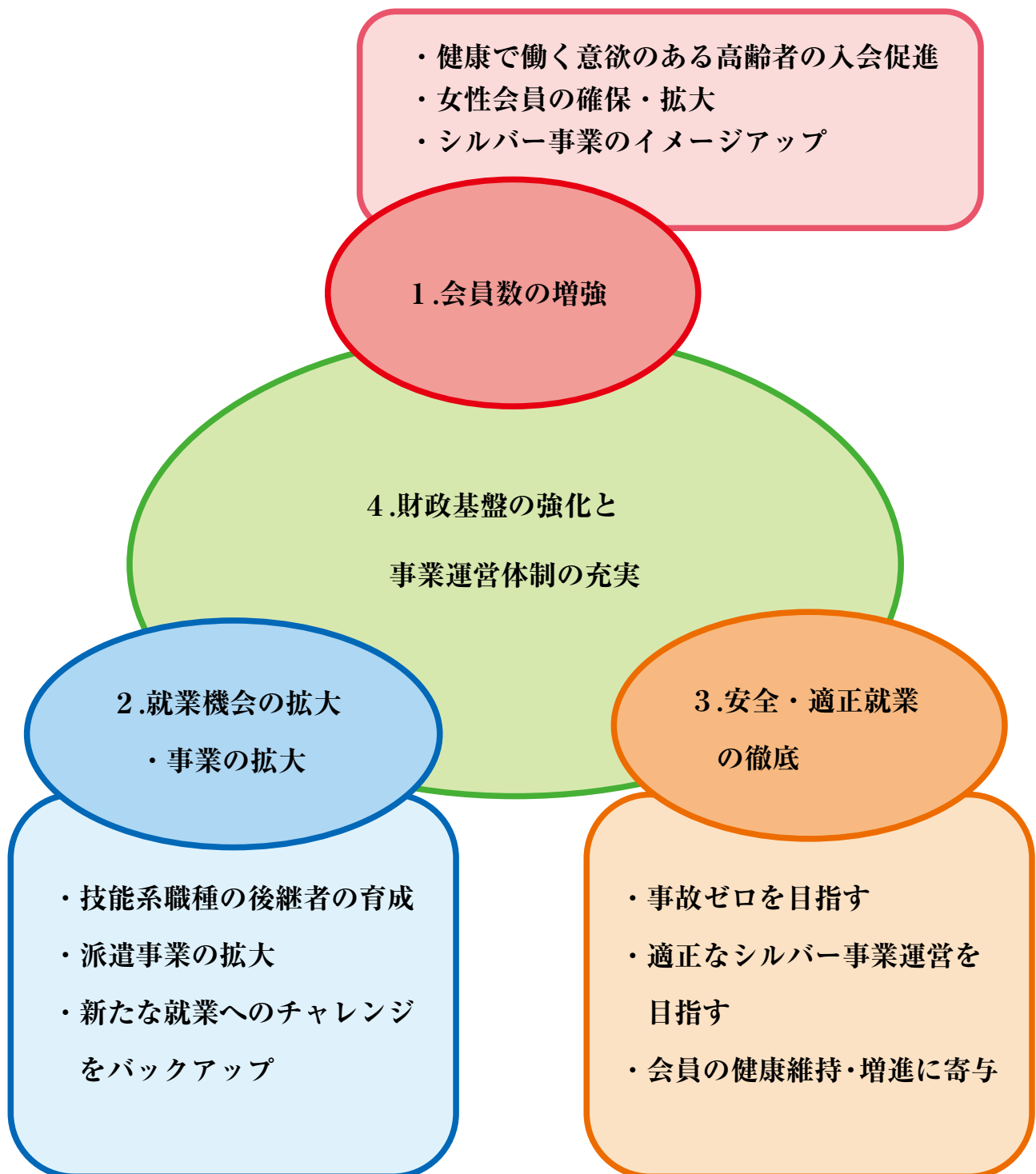
後期計画は、前期計画の実績等を踏まえ、課題を整理したうえで、今後5年間の当センター事業を展望し、基本理念である「自主・自立、共働・共助」と地域社会に根差した活動を推進するため、当センターとして取り組むべき方向性を定めることを目的として策定しました。

計画策定の期間等

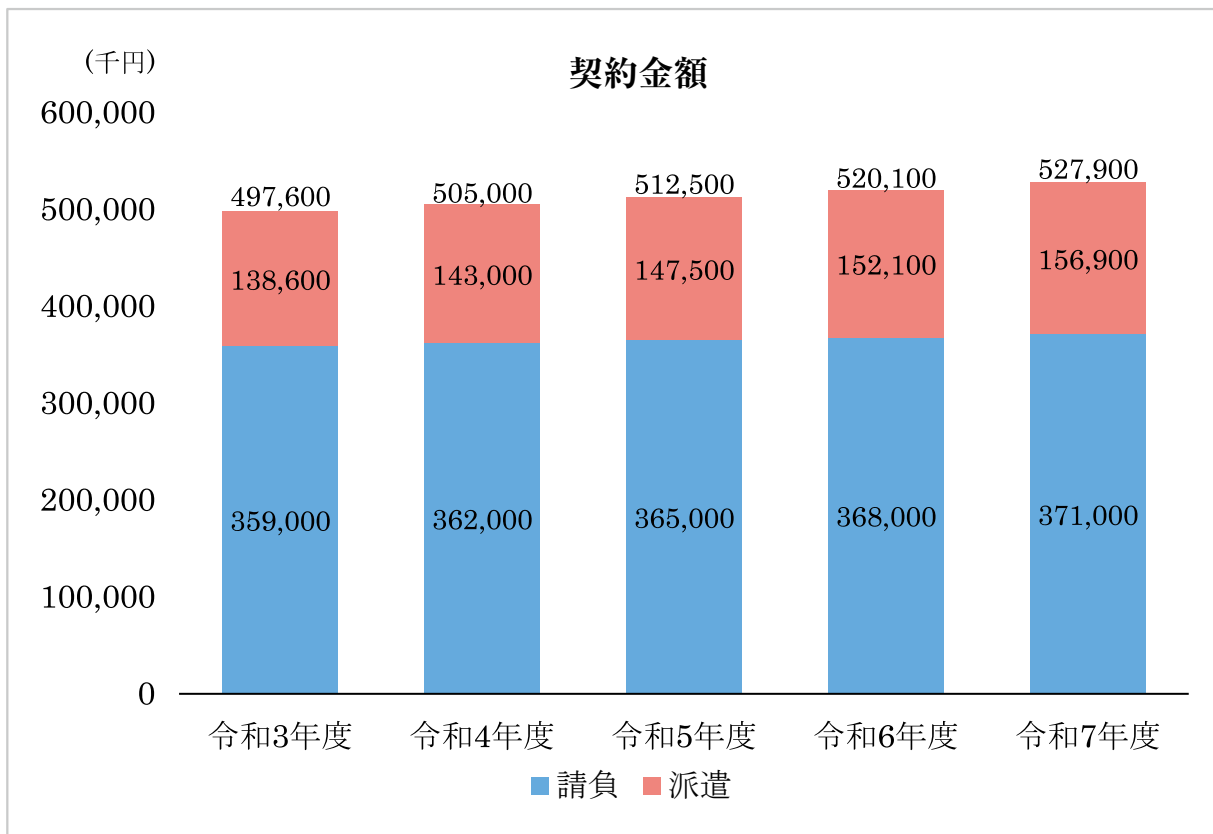
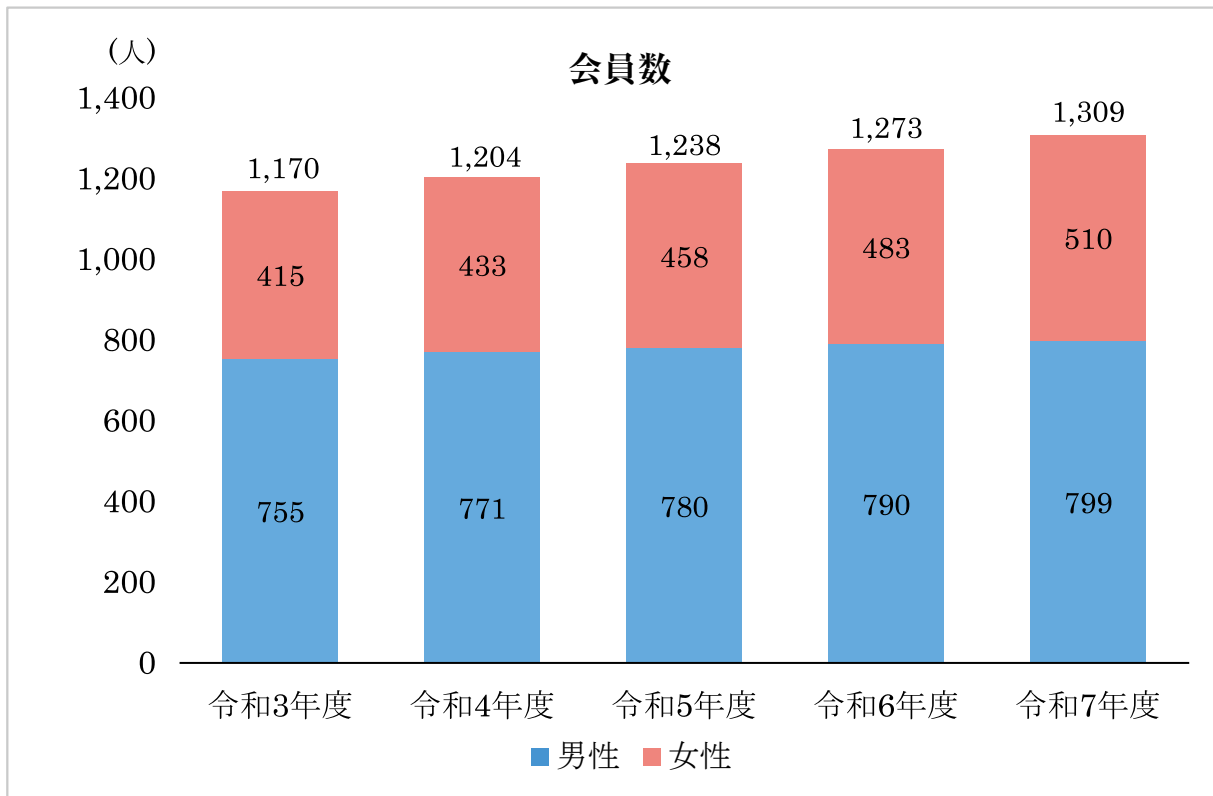
中長期計画の後期計画は、令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

各年度のデータについては、年度末の数値とします。

後期計画における3本の柱



今後5年間の将来推計と目標数値



1. 会員数の増強

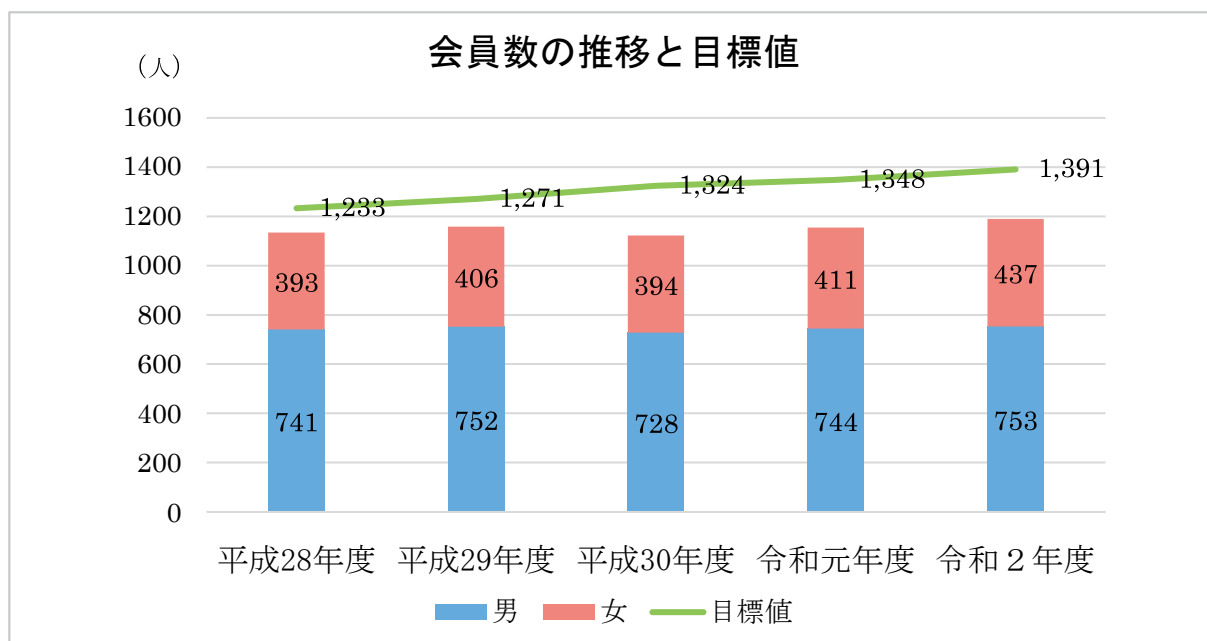
(1) 入会の促進

実施計画①

◇口コミによる入会促進も効果的と考えられ、会員一人ひとりが健康で就労意欲のある高齢者を勧誘し、入会促進を図ります。

前期計画の検証

- ・一人ひとりの会員の口コミによる入会促進を図ったが、目標会員数に達することができず、微増に留まった。



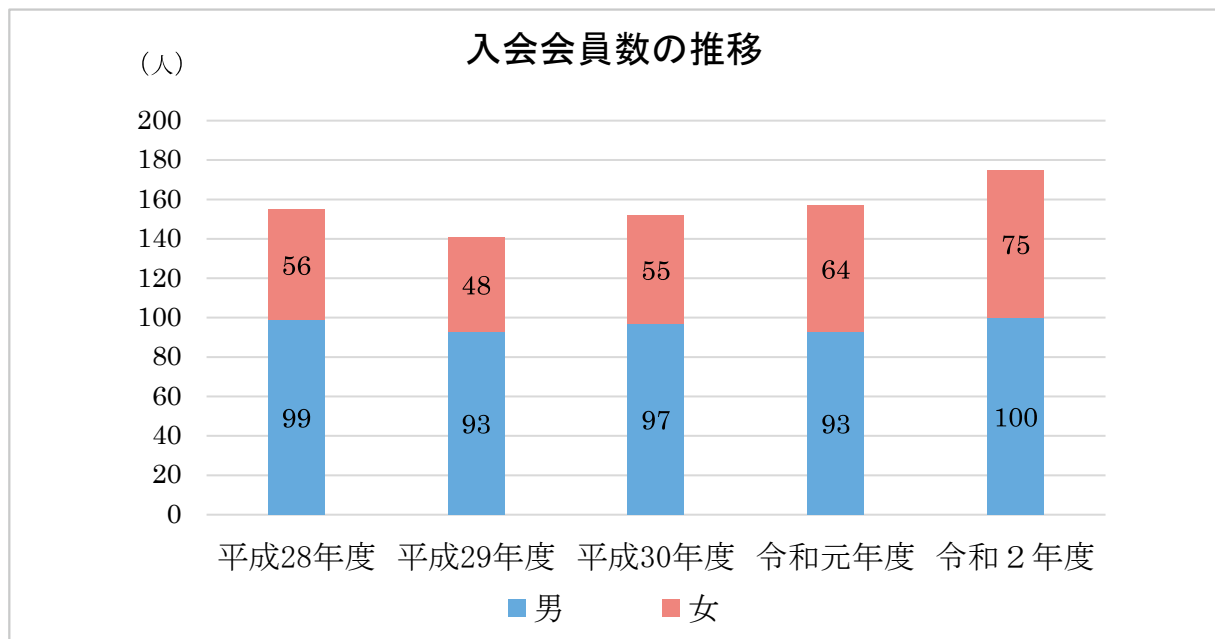
実施計画②

◇公共施設や年金受取の金融機関などにポスターを掲示し、会員の入会を促進します。

前期計画の検証

- ・令和元年度より、三郷市役所1階エントランスホールに設置されているデジタルサイネージに当センターの事業案内を掲載した。
- ・市内を走行する東武バスセントラル車両内に、当センターの広告を掲示した。(25台/枚)

- ・事業案内チラシを作成して市内公共施設や金融機関に配置した。また、会員募集チラシを市内全戸へ配布して入会促進を図り、会員増につながった。
- ・毎月、市内公共施設に入会希望者説明会の案内ポスターを掲示し、入会の促進を図った。



実施計画③

◇シルバー事業をより知っていただくため、ホームページのさらなる充実を図ります。

前期計画の検証

- ・当センターの事業案内のほか、「お仕事情報」や講習会開催案内等をホームページへ掲載した。

実施計画④

◇高齢者の就業の選択肢を広げられるよう多様な就業開拓をします。特に、健康で就業意欲のある75歳以上の高齢者向け仕事の開拓にも努めます。

前期計画の検証

- ・高齢者向けの仕事に特化した開拓は行っていないが、野菜作りに興味のある会員有志による「シルバー農園」事業や女性会員の有志による「手芸の会」の活動を支援し、会員がいきいきと活動する様子が見られた。

入会の促進 後期計画の目標

- ・会員による一人1会員の入会活動を実施します。
- ・入会希望者説明会の説明内容を見直します。
- ・ホームページのさらなる充実を図り、シルバー事業を紹介します。
- ・入会希望者に対する、より迅速かつ適正な入会受付を行い、新規加入会員へ就業機会の早期提供を図ります。
- ・三郷市や各種団体などが開催するイベントへ積極的に参加し、シルバー事業の広報活動を行います。
- ・年齢にかかわらず、意欲や能力に応じて行う作業やチームでできる仕事を開拓します。

(2) 女性会員の拡大

実施計画①

◇女性が参加しやすい仕事の開拓や拡大をするため、福祉団体（ファミリーサポートセンター、市内保育所等）と連携するとともに、文化センター等と共催し、女性ならではの経験と知識を活かせる職域を広げます。

前期計画の検証

- ・三郷市子ども支援課のほか、福祉関係の事業所等より保育士等の有資格会員の照会はあったが、就業には至らなかった。

実施計画②

◇女性会員の就業を通じての経験や喜びなどを積極的に発信し、入会促進活動のほか、ボランティア活動への誘い掛けも積極的に行います。

前期計画の検証

- ・会員及び一般市民の女性を対象とした講習会を開催し、参加者相互の親睦を図りながら、女性会員の活動を発信した。（スキンケア講習会2回、スカーフアレンジ講習会、料理講習会、健康セミナー）
- ・女性会員の有志による「手芸の会」の活動では、楽しみながら趣味を生かした手作り小物を製作し、産業フェスタ等で販売を行うなど、当センター事業の普及啓発を行った。
- ・女性会員が、各種事業の際に「公益財団法人いきいき埼玉」によるシルボ^まンヌスカーフを身に纏い、シルバー人材センターのイメージアップを図った。



(スキンケア講座)



(料理講習会)

女性会員の拡大 後期計画の目標

- ・女性会員の多様な就業ニーズに対応した就業先や仕事の開拓に努めます。(事務系職種、小売り、福祉・家事援助サービス、育児支援等)
- ・女性限定の入会希望者説明会を開催します。
- ・会員募集のリーフレットを、女性をイメージした内容に刷新します。
- ・一般市民を対象としたセミナーや講座等を実施し、シルバー人材センターの知名度を高めます。
- ・いきいきと働き、生活を楽しんでいる女性会員の活躍を発信し、当センターのイメージアップを図ります。

(3) 会員の意識の向上と徹底

実施計画①

◇事務局、就業会員、発注者の間でコミュニケーションを深めることによって、会員の就業意識を高め、発注者へ質の高いサービスの提供に繋がります。

前期計画の検証

- ・職群班の仕事別グループリーダーが、必要に応じて就業会員、発注者とコミュニケーションを図り、質の高いサービスの提供を心がけた。

実施計画②

◇ワークシェアリングを推進するうえで、「共働・共助」の理念を共有し、会員としての自覚と責任感を持った多くの会員を確保します。

前期計画の検証

- ・入会希望者説明会及び入会が承認された後の新会員研修会において、シルバー事業の基本理念である「自主・自立、共働・共助」の説明を繰り返し行い、基本理念の共有を図った。
- ・仕事別グループリーダーは、グループの意見や希望等を取りまとめ、会員相互に助け合いながら働くことを推進した。

実施計画③

◇就業経験のある会員・役員・職員が協力して、相談に乗ることによって、退会者を一人でも減らすため、就業に関する悩み相談の窓口を設けます。

前期計画の検証

- ・仕事のミスマッチや高齢等の理由により、就業機会を得られない会員には「シルバー農園」事業や「手芸の会」の活動への参加を呼び掛けるなどして、退会抑制に努めた。
- ・特定の相談窓口は設けていないが、会員の就業に関する相談には個々に対応した。



(シルバー農園)



(手芸の会)

実施計画④

◇さらに充実した新入会員の説明会及び、就業前の就業規約の理解の徹底やフォローアップの研修などを行います。

前期計画の検証

- ・新会員研修会では「会員のしおり」を用いてシルバー人材センターの理念や就業システム、就業の開始から配分金支払いまでの流れ等を丁寧に説明した。

実施計画⑤

◇新規の仕事を依頼する発注者より、「シルバー人材センターに頼めば大丈夫」との、安心と信頼を得るために、会員・役員・職員が一致協力してプロ意識を持って事業運営にあたります。

前期計画の検証

- ・地区懇談会等を開催し、シルバー人材センターに対する地域の期待に応えるべく、会員と役職員が忌憚のない意見交換を行った。
- ・地域班組織の充実を図り、地区代表班長を中心に地域の特色を生かした地区懇談会やボランティアなどの地区別自主活動が行われ、会員の連帯意識が向上した。

会員の意識の向上と徹底 後期計画の目標

- ・「共働・共助」の理念を共有し、会員の自覚と責任感を高めるために、仕事別グループリーダーの育成に努め、職群班の充実を図ります。
- ・退会抑制の取り組み
 - ア. 未就業会員への就業相談を実施し、就業促進を図ります。
 - イ. 高齢会員の就業先を確保し、「共働・共助」の働き方を強化します。
- ・高齢会員の生活環境に合わせたボランティア活動への参加など「できること」を「できる範囲で」行う社会参加活動を推進します。
- ・地域班組織のさらなる充実を図り、会員相互の連帯意識の向上と親睦を図ります。

2. 就業機会の拡大・事業の拡大

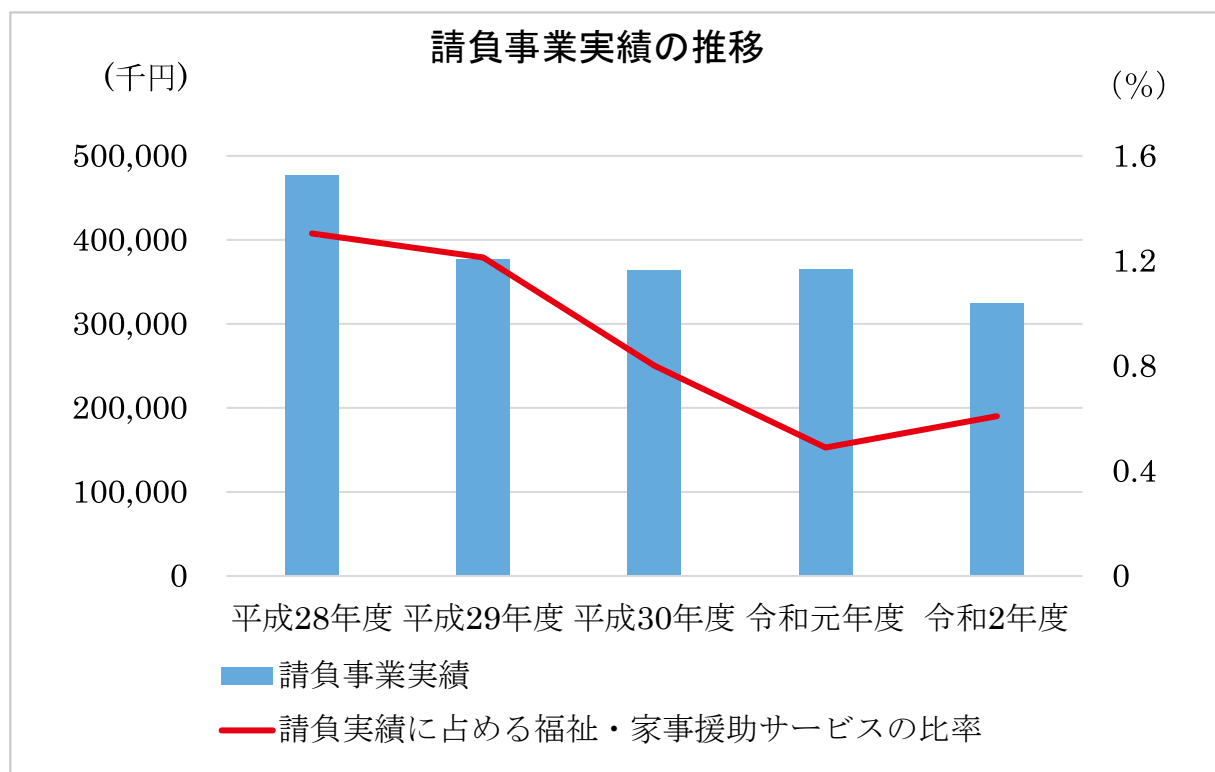
(1) 就業機会の拡大

実施計画①

◇家事支援や育児支援など、新たな就業機会の開拓を推進します。

前期計画の検証

- ・女性会員の「手芸の会」による縫製作業を通じて、新たな就業機会を創出し、子育て支援を行った。
- ・福祉・家事援助サービス分野の請負契約金額については、過去5年間で最高であった平成28年度の6,211,834円と比較し、令和元年度は1,788,215円となり71.2%減少した。理由としては、就業希望会員及び受注の減少、短時間就業や発注者宅内での就業を敬遠する傾向が見られる。
- ・仕事募集のチラシを市内全戸へ配布することにより、新たな仕事の発注をいただき就業開拓の効果が現れた。



実施計画②

◇既存発注者との連携を強化し、事務系職種などはシルバー派遣を視野に入れた受注体制の充実を図ります。

前期計画の検証

- ・「適正就業ガイドライン」を各発注者に配付し、法令遵守と業務の適正な実施方法について周知・徹底し、事務系職種は主に派遣事業として受注した。

実施計画③

◇会員の持っている能力・知識・経験・資格等を十分把握して、データ管理を行います。

前期計画の検証

- ・シルバー人材センター向けのITサービス会社による総合情報処理システムや派遣事業処理システムなどのITサービスを積極的に活用して、会員の持っている能力・知識・経験等を把握し、就業機会の拡大に活かした。

就業機会の拡大 後期計画の目標

- ・各種講習会を開催し、会員の「仕事の質」「接遇力」をさらに高めて、発注者の満足度向上・イメージアップを図ります。
- ・地域社会の発展、高齢者の福祉・生活の充実など、三郷市とさらに連携・協業します。
- ・地域におけるニーズを把握し、企業訪問・就業開拓、発注者（派遣先）・就業会員のフォローを行います。
- ・顧客満足度調査（アンケート）を実施してサービス利用者の生の声を聴くことにより満足度を向上させ、リピーターを増やすとともに新規顧客獲得に結びつけます。
- ・福祉・家事援助サービスを推進します。
- ・令和4年度には、本格的にシルバー派遣事業を開始して満5年（注1）を迎えることに備えて、請負事業の開拓を積極的に進めます。

（注1）平成27年9月30日付の「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律」の改正により、60歳以上のかたは3年の期間制限はなくなったが、シルバー人材センター事業の基本理念に基づき、シルバー派遣事業での就業は最長5年までの期間制限と6カ月間のクーリング期間がある。

(2) 就業率の向上

実施計画①

◇ホワイトカラー層（事務系職種）の仕事の調査・研究・開拓に努め、事務系職種の確保を推進します。

前期計画の検証
・事務系職種の就業希望会員の増加に対応し、選挙における期日前投票事務、一般経理事務、宛名書き等の筆耕事務、調査事務などの就業を確保し、推進することができた。

実施計画②

◇未就業会員への情報提供及び就業相談を充実します。

前期計画の検証
・ホームページや市内公共施設17カ所に掲示している「お仕事情報」を通じて、会員に就業情報を公平に提供し、会員自らが自分に合った就業先を選択して応募できる仕組みを構築した。
・未就業会員の希望に応じて、随時就業相談に応じた。

実施計画③

◇就業日時や会員の交替など、効率的なワークシェアリングを推進します。

前期計画の検証
・社会全体で働き方改革が進められている中、仕事別グループのリーダー・サブリーダーを中心に就業日時や会員の交替をする仕組みを構築し、ワークシェアリングを推進することができた。

就業率の向上 後期計画の目標

- ・会員の就業ニーズを的確に把握し、受注の幅を広げ、就業機会の拡大に努めていくとともに、事務系職種や管理・受付業務などの仕事を確保する努力を継続します。
- ・より多くの会員が就業できるよう、さらにワークシェアリングを推進します。
- ・未就業会員向けに就業相談・フォローアップを行います。

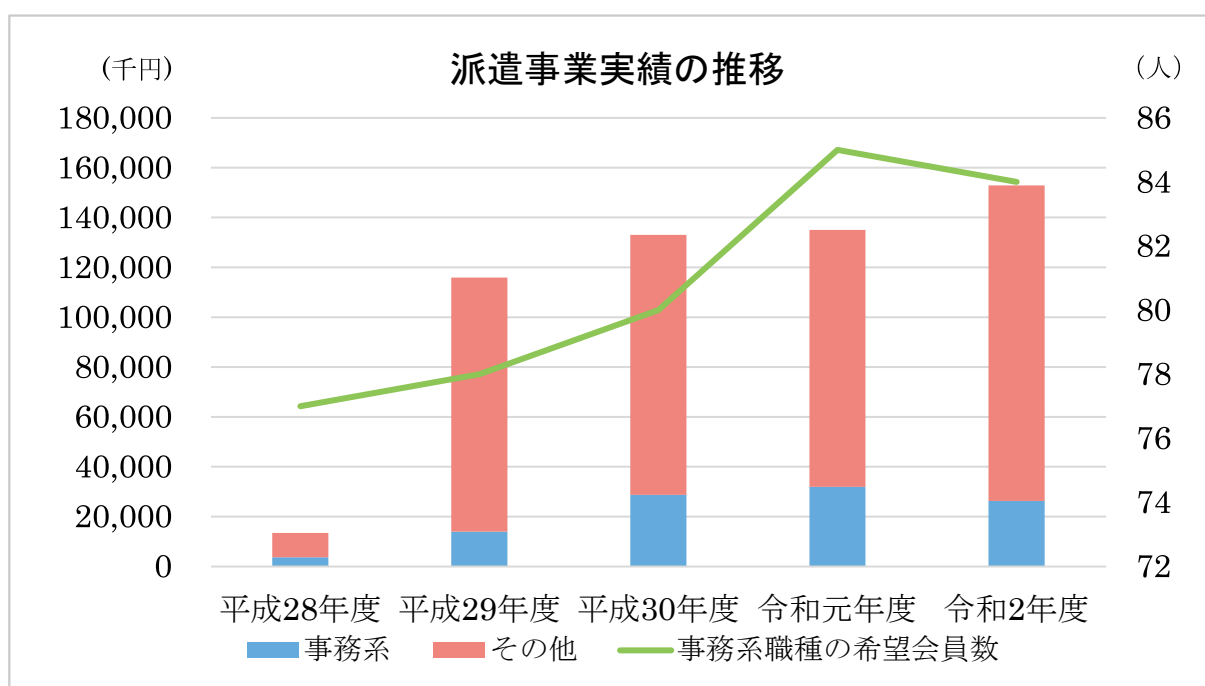
(3) シルバー派遣事業の推進

実施計画①

◇需要が期待される教育・子育て・介護事業や受注実績の少ない専門技術分野、事務分野など、新たな就業分野の拡大に努めます。

前期計画の検証

- ・教育・子育て・介護事業や受注実績の少ない専門技術分野については、シルバー派遣事業での受注実績を上げることができなかった。
- ・事務分野については、派遣業務として着実に受注し、実績を上げることができた。



実施計画②

◇「公益財団法人いきいき埼玉」と情報を共有し、派遣にふさわしい仕事分野を調査・研究し、開拓します。

前期計画の検証

- ・大手スーパーやホームセンターでの派遣にふさわしい仕事分野を開拓し、実績を上げることができた。
- ・「全国シルバー人材センター事業協会」や「公益財団法人いきいき埼玉（埼玉県シルバー人材センター連合）」が行うシルバー派遣事業に関する研修会等に参加し、積極的に情報収集に努めた。

シルバー派遣事業の推進 後期計画の目標

- ・ 会員が、土日勤務、早朝勤務、短時間等の空き時間を有効活用できる仕事で、地域の発注者のニーズがある分野の仕事を開拓します。
- ・ 育児支援業務や地域における人手不足分野等の就業を拡大することにより、現役世代が安心して働けるよう、バックアップします。

3. 安全・適正就業の徹底

(1) 安全就業の徹底

実施計画①

◇安全・適正就業委員会は事故現場へ訪問し、事故事例の収集・分析と事故原因の特定や検証に努め、安全対策を講じます。

実施計画②

◇安全・適正就業推進員の定期的な就業現場への巡回をさらに強化し、安全就業の徹底を図ります。

事故・就業現場訪問件数		
	事故現場訪問件数	就業現場訪問件数
平成 28 年度	2	2
平成 29 年度	3	3
平成 30年度	3	2
令和元年度	3	42
令和 2 年度	3	47

前期計画の検証

- ・平成28～30年度は安全・適正就業委員会委員が事故現場を年2回訪問し、事故の状況を確認して再発防止策を協議した。委員会での分析結果をもとに「シルバーみさと」に記事を掲載し、必要な安全保護具を購入した。
- ・令和元年7月から安全・適正就業委員会委員、安全・適正就業推進員、事務局職員の3名で毎月1回現場訪問を実施した。その際、就業中の会員の安全確認、事故を未然に防ぐための助言・指導を行った。

実施計画③

◇安全就業基準、安全就業義務違反取扱基準の運用や、事故防止のため講習会等を開催します。

前期計画の検証

- ・安全就業義務違反取扱基準に違反する会員はおらず、安全就業基準にある安全心得10か条を周知することで事故防止に努めた。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大を受けて中止した令和2年度を除き、事故防止のための講習会を年1回開催した。
(高齢者の交通事故防止、栄養とフレイル、こころとからだの健康づくり)

実施計画④

◇必要な安全保護具を配付し、装着の徹底を図ります。

前期計画の検証

- ・就業に必要な安全保護具を配付し、事故防止に役立てた。
(蛍光ベスト、黄色メッシュ帽子、ネッククーラー、スーパーカルマー、飛散防止ネット、三脚転倒防止装置、ヘルメット、安全ベルト)
- ・安全就業巡回訪問時に、装着状況の確認を行った。



(就業現場訪問 除草作業)



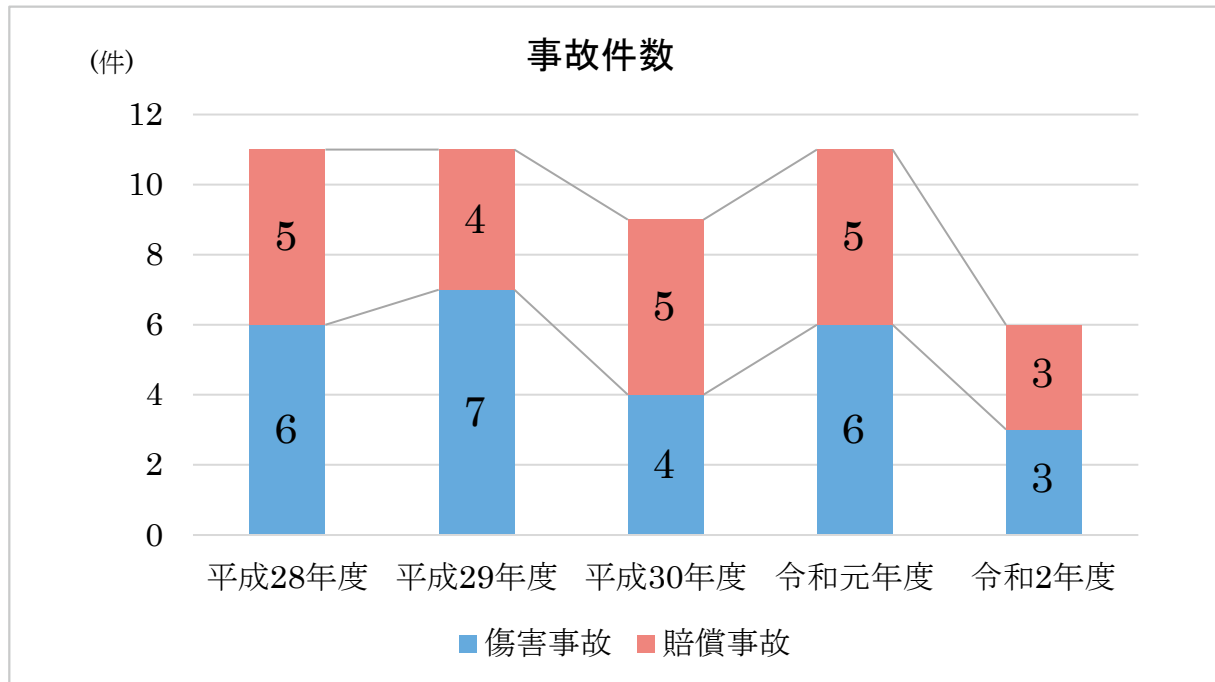
(就業現場訪問 清掃作業)

実施計画⑤

◇安全対策を徹底し、事故を減らすことで保険料の削減を図ります。

前期計画の検証

- ・自転車の乗り方ガイドを配付して、交通事故防止を図った。



安全就業の徹底 後期計画の目標

- ・毎月1回の現場訪問を実施し、引き続き安全就業の徹底を図ります。
- ・事故が発生した場合は速やかに安全・適正就業委員会委員が現場訪問し、事故の詳細な分析を行います。
- ・四半期ごとに安全・適正就業委員会を開催し、現場訪問で得た情報をもとに事故を未然に防ぐための方策を協議します。協議した結果は「シルバーみさと」及び仕事別グループリーダーを通じて会員に周知します。
- ・安全就業基準の周知徹底を行います。就業基準を遵守せずに事故を起こした場合は、安全就業義務違反取扱基準に則った適切な措置をします。
- ・事故解決に向けて、会員と事務局が連携して対応にあたります。
- ・重篤事故につながりやすい交通事故、植木剪定や刈払機などの仕事に関する安全講習会を開催します。
- ・安全就業に不可欠な用具類を貸与し、適切な使用を徹底します。

(2) 適正就業の徹底

実施計画①

◇民間事業所における長期就業者の交代を推進し、長期就業の是正を図ります。

前期計画の検証
・民間事業所の長期就業是正に向けて、後任者を「お仕事情報」で募ったが、応募が少なく一部しか是正されなかった。

実施計画②

◇雇用と疑われるような働き方については、発注者と十分に協議したうえで指揮命令が不可欠なものはシルバー派遣事業への契約の切り替えを行います。

前期計画の検証
・平成28年度の埼玉労働局の指導に基づき、平成29年度から請負業務13件を労働者派遣事業へ切り替えた。指揮命令が不可欠な新規業務については、派遣契約で受注した。
・シルバー事業の適正な運営における指導に基づき、適正な受託業務となるよう区分基準に基づく点検をした。

実施計画③

◇請負・委任契約についても、適切な仕様書や契約書の作成・整備に努めます。

前期計画の検証
・継続的な請負業務については、適切・適正な仕様書・契約書を作成し、締結した。

適正就業の徹底 後期計画の目標

- ・民間事業所の長期就業者の交代を図るため、継続的に後任者の発掘を行います。
- ・既存の請負業務について総点検を行い、雇用と疑われる業務については、シルバー派遣事業に切り替えます。
- ・請負業務として適切・適正な仕様書・契約書を作成し、締結します。
- ・安全・適正就業推進員が就業現場の巡回指導を実施し、シルバー事業としてふさわしい業務か確認します。

(3) 健康管理の推進

実施計画①

◇三郷市健康推進課と連携し、会員の健康維持・健康相談を実施します。

前期計画の検証

- ・三郷市健康推進課に講師派遣を依頼し、健康に関する講習会を開催するとともに簡単にできるリラックス体操の指導を受けた。
- ・会員から健康相談があった場合は、個別に対応した。

実施計画②

◇夏季炎天下や冬の降雪時など、会員の健康と安全を考慮し、就業制限を図ります。

前期計画の検証

- ・夏季炎天下の屋外作業は、中止または比較的涼しい時間帯だけ就業する措置をとった。台風や冬季の降雪など就業先との往復が困難と予見される場合は発注者と協議し、中止または就業日時変更の対策を講じた。



(安全講話会でのリラックス体操)

健康管理の推進 後期計画の目標

- ・三郷市健康推進課と連携し、会員の健康維持について講習会の開催や「シルバーみさと」への掲載を行います。
- ・三郷市から保健師を招き、身体機能や認知症などの健康に関する心配事の相談受付を実施します。
- ・就業前に準備体操やストレッチを行うなど、仕事別グループリーダーを通じて疲労を蓄積させないような働きかけを行います。
- ・熱中症や就業時、就業先との往復時に転倒等の危険が予見される場合は、就業中止または就業時間の変更を勧めます。
- ・健康管理の重要性や感染症対策を適宜啓発し、毎日の検温・血圧測定を奨励します。

4. 財政基盤の強化と事業運営体制の充実

(1) 財政基盤の強化

実施計画①

◇事業収入については、派遣事業など新たな事業を推進することによって増収を図ります。

前期計画の検証

- ・令和元年度の事業収入は、派遣事業を拡大したことにより、請負及び派遣事業を合わせた契約金額の総合計が、当センター設立以来最高の5億32万2,312円となった。
- ・令和2年当初からの新型コロナウイルス感染症拡大による業務縮小等の影響により、契約金額が前年比マイナスに転じている。
- ・シルバー派遣事業の活用により自主財源の確保に努めた。（活動拠点協力費）

実施計画②

◇事務用品などの節約に努め、さらにリユース（再利用）やペーパーレス化を図ることによって諸経費を削減します。

前期計画の検証

- ・ 消耗品費などの諸経費削減に努めているが、消費税の増税等に伴い、削減には至らなかった。
- ・ OA機器を活用した業務処理の効率化を図り、ペーパーレス化を推進した。

実施計画③

◇経済状況や消費税の動向により、適正な配分金・事務費・会費を見直します。

前期計画の検証

- ・ 経済状況や最低賃金の動向を常に把握し、業務部会において適正な配分金の見直しを行った。

実施計画④

◇三郷市をはじめ行政機関等の政策を踏まえ、「地域社会への貢献」や「地域の活性化」を図る事業を積極的に推進し、行政機関等からの理解と支援をさらに得られるよう努めます。

前期計画の検証

- ・ 高齢社会において、市の業務依頼を積極的に受け、高齢者が生きがいを持って働くことのできる地域づくりを推進した。
- ・ シルバーの日のボランティア活動で市内公園等の清掃活動や、市の産業フェスタに参加することにより、会員がいきいきと活動することで地域の活性化に貢献した。

財政基盤の強化 後期計画の目標

- ・ コロナ禍で事業収入の減収が見込まれる中、派遣事業等の事業を拡大することにより、早期にマイナスを回復させ増収となるよう努めます。
- ・ 事務のスリム化を図り、引き続き事務用品などを節約することにより、諸経費を削減します。
- ・ 三郷市をはじめ、行政機関等の政策を踏まえ、「地域社会への貢献」や「地域の活性化」を図る事業をさらに推進し、行政機関等からの理解と支援が維持されるよう努めます。

(2) 事業運営体制の充実

実施計画①

◇執行機関としての理事会機能を強化するため、当センターの事業に理解や知識と経験があり、建設的な提案と行動力のある理事・監事を起用し、活力ある理事会運営を図ります。

前期計画の検証
・常に当センター事業への理解や知識、経験が豊富な理事・監事を選出し、役員の交代を適切に行った。

実施計画②

◇社会の変化に対応するため、部会・委員会の分担などを見直し、組織体制の強化・充実を図ります。

前期計画の検証
・部会・専門委員会は従来の形態を維持しつつ、組織体制の強化を図った。

実施計画③

◇本計画の着実な推進を図るために、事務局の強化や事務局職員、会員の計画的な人材育成を行います。また、事務局の事務効率を高めるため、会員の活用を図ってまいります。

前期計画の検証
・事務局職員が三郷市や「公益財団法人いきいき埼玉」主催の研修に積極的に参加することにより、事務局の活性化を図った。また、会員向けの研修を毎年行うことにより、会員の質と技能の向上を図っている。会員の活用に向けて自主・自立を推進した。
・派遣コーディネーターを1名増員して事務局の強化を図った。

実施計画④

◇会員相互の親睦交流と連帯意識の高揚を図るため、地区懇談会・班長会議・職群班会議等を推進します。また、会員による交流会・懇親会など福利厚生事業も支援してまいります。

前期計画の検証

- ・地域班組織の充実を図り、地区代表班長を中心に地域の特色を生かした地区懇談会やボランティアなどの地区別自主活動が行われ、会員の連帯意識が向上した。
- ・会員相互の親睦を図るため、積極的に地区懇談会等を推進してきたが、令和2年1月から、コロナ禍にある状況を踏まえた、新しい生活様式に則った方法での交流を検討する必要がでてきた。



(地区懇談会)



(ボランティア清掃)

事業運営体制の充実 後期計画の目標

- ・社会の変化に対応できる理事会運営、部会、委員会の強化・充実に努めます。
- ・後期計画を着実に進めるため事務局の活性化を図り、事務局職員及び会員の質の向上に努めます。
- ・会員相互の親睦は、連帯意識の高揚を図るために重要であり、コロナ禍にある状況を考慮しつつ、主に地域班活動を通して、会員による福利厚生事業を支援します。
- ・社会状況に柔軟に対応するため、会員への情報発信を円滑に行うなどのデジタル化を推進します。

(3) 行政機関等との連携

実施計画①

◇地域社会の発展に寄与するセンターを目指し、行政機関等と情報を共有しながら連携の強化を図ります。

前期計画の検証
・ 会員が生きがいをもって就業することができ、地域が活性化することを目指して、行政機関との連携、情報共有を図った。

実施計画②

◇三郷市が主催する協議会等へ積極的に参画し、情報交換・収集に努めます。

前期計画の検証
・ 三郷市等が主催する協議会等に積極的に参加することにより、情報交換・収集に努めた。 「三郷市生活支援・介護予防サービス提供主体協議体」 「空家等の適切な管理に関する協定書」 「軽度生活援助事業業務」 「養育支援訪問事業ホームヘルプサービス業務」 「生涯現役支援シニア就労相談会」（草加公共職業安定所）

行政機関等との連携 後期計画の目標

- ・ 地域福祉を推進するため「顔の見える関係づくり」「ともに生きる社会づくり」を目指して、行政機関と情報を共有しながら連携します。
- ・ 三郷市が主催する協議会等へ積極的に参画し、さらに情報交換・収集に努めます。

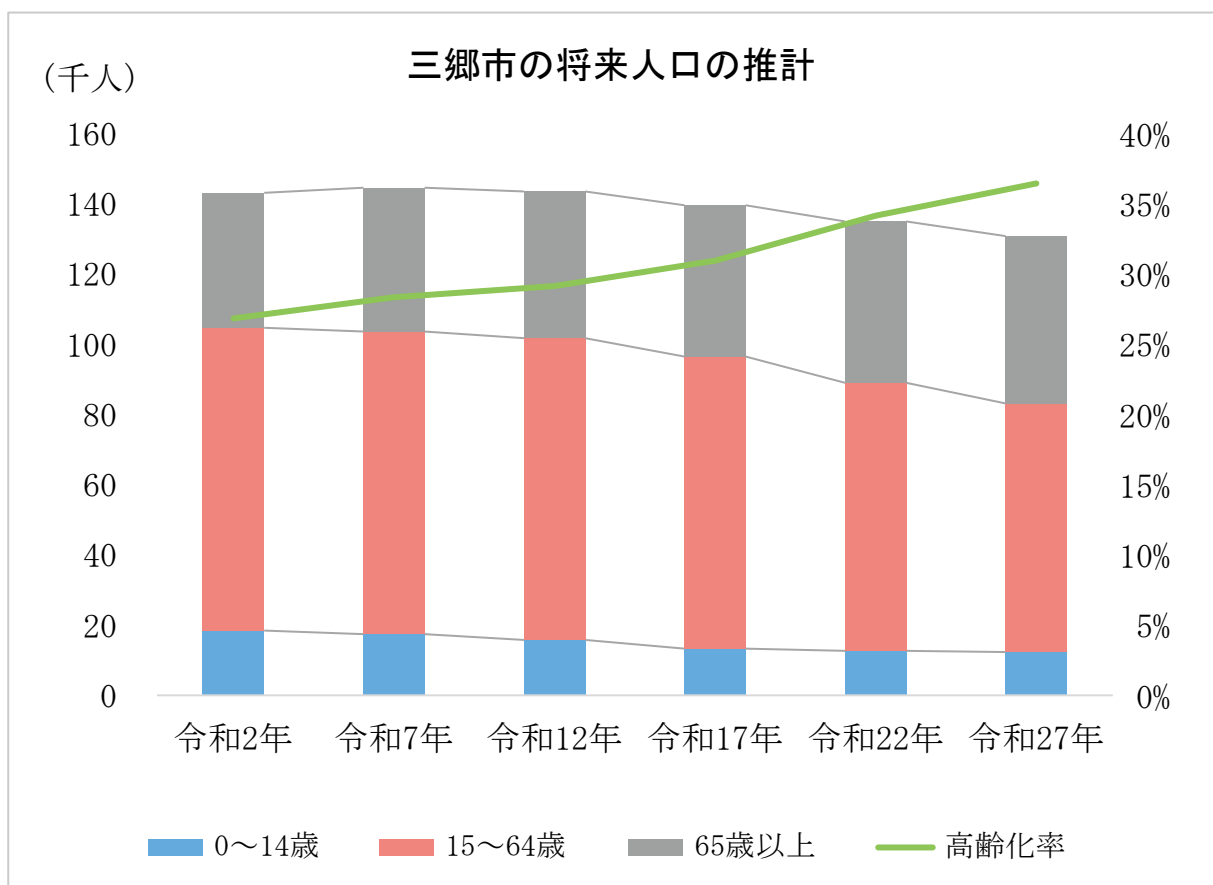
以上、本計画の推進のため、毎年理事会でフォローアップを行い、大幅な経済環境・社会環境等の変化が生じた場合は、その都度、修正・改善を行います。

資料編

三郷市の将来人口の推計

年	年齢区分（人）				高齢化率
	総人口	0～14 歳	15～64 歳	65 歳以上	
令和 2 年	142,878	18,410	86,129	38,340	26.8%
令和 7 年	144,372	17,370	86,094	40,909	28.3%
令和 12 年	143,256	15,724	85,848	41,684	29.1%
令和 17 年	139,355	13,238	83,090	43,028	30.9%
令和 22 年	134,767	12,614	76,235	45,919	34.1%
令和 27 年	130,590	12,299	70,718	47,573	36.4%

三郷市「みさと統計書」※各 1 月 1 日人口データを使用



入会時の希望職種と就業実績

令和３年１月３１日現在

職群	仕事の分類	男		女	
		入会時の希望 職種第１希望	令和２年度 就業実績	入会時の希望 職種第１希望	令和２年度 就業実績
技術群	教育指導、 執筆翻訳、 経理事務等	87	21	14	0
技能群	大工仕事、 表具・表装作業、 植木作業、 自転車修理等	103	69	10	9
事務群	整理事務、 宛名書き、 調査事務等	37	7	52	2
管理群	建物管理、 物品管理等	182	99	13	11
折衝外交群	販売、配達等	10	3	12	0
一般作業群	除草作業、 荷造・運搬作業、 屋外軽作業、 屋内清掃作業、 包装・梱包作業、 各種検査作業等	324	288	275	217
サービス群	家事援助サー ビス、育児支 援サービス等	14	10	47	23
その他	その他	1		1	
		758	497	424	262

(人)

※令和３年１月まで会員数は１，１８２人です。

※令和３年１月までの請負契約における実就業会員は６６１人です。

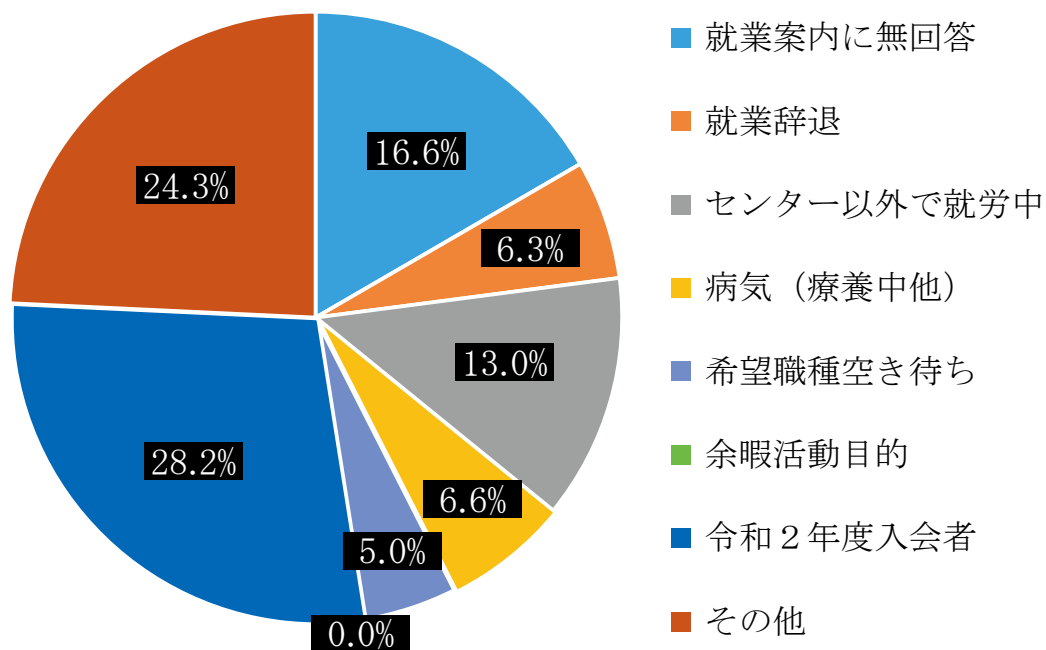
※短時間就業の会員については、複数の職種で就業している会員がいます。

未就業者分析表

平成30年4月1日から令和2年12月末日現在の未就業会員
(人)

1	就業案内に無回答	50	16.6%
2	就業辞退	19	6.3%
3	センター以外で就労中	39	13.0%
4	病気(療養中他)	20	6.6%
5	希望職種空き待ち	15	5.0%
6	余暇活動目的	0	0.0%
7	令和2年度入会者	85	28.2%
8	その他	73	24.3%
合計		301	100%

未就業者分析表



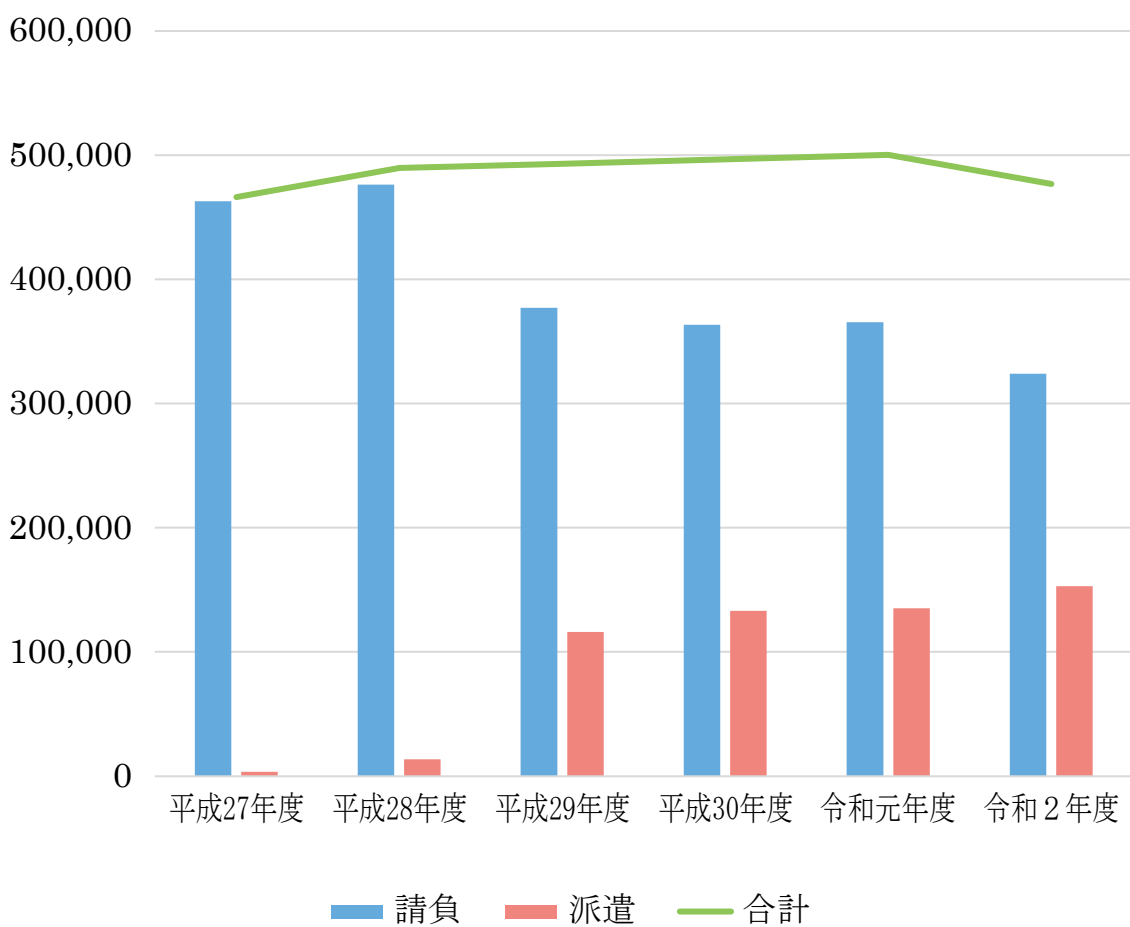
事業実績推移

(千円)

	請負	派遣	合計
平成27年度	462,906	3,477	466,383
平成28年度	476,222	13,450	489,672
平成29年度	376,980	115,897	492,877
平成30年度	363,436	133,018	496,454
令和元年度	365,293	135,029	500,322
令和2年度	323,929	152,863	476,792

事業実績推移

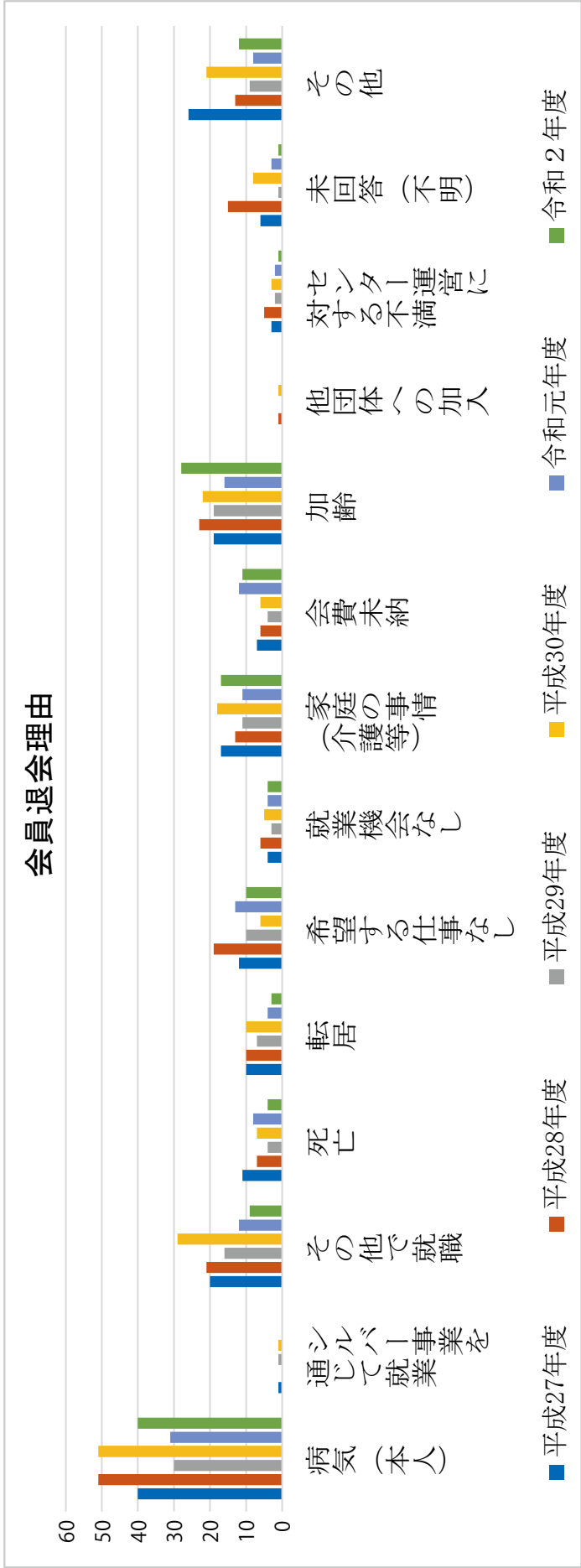
(千円)



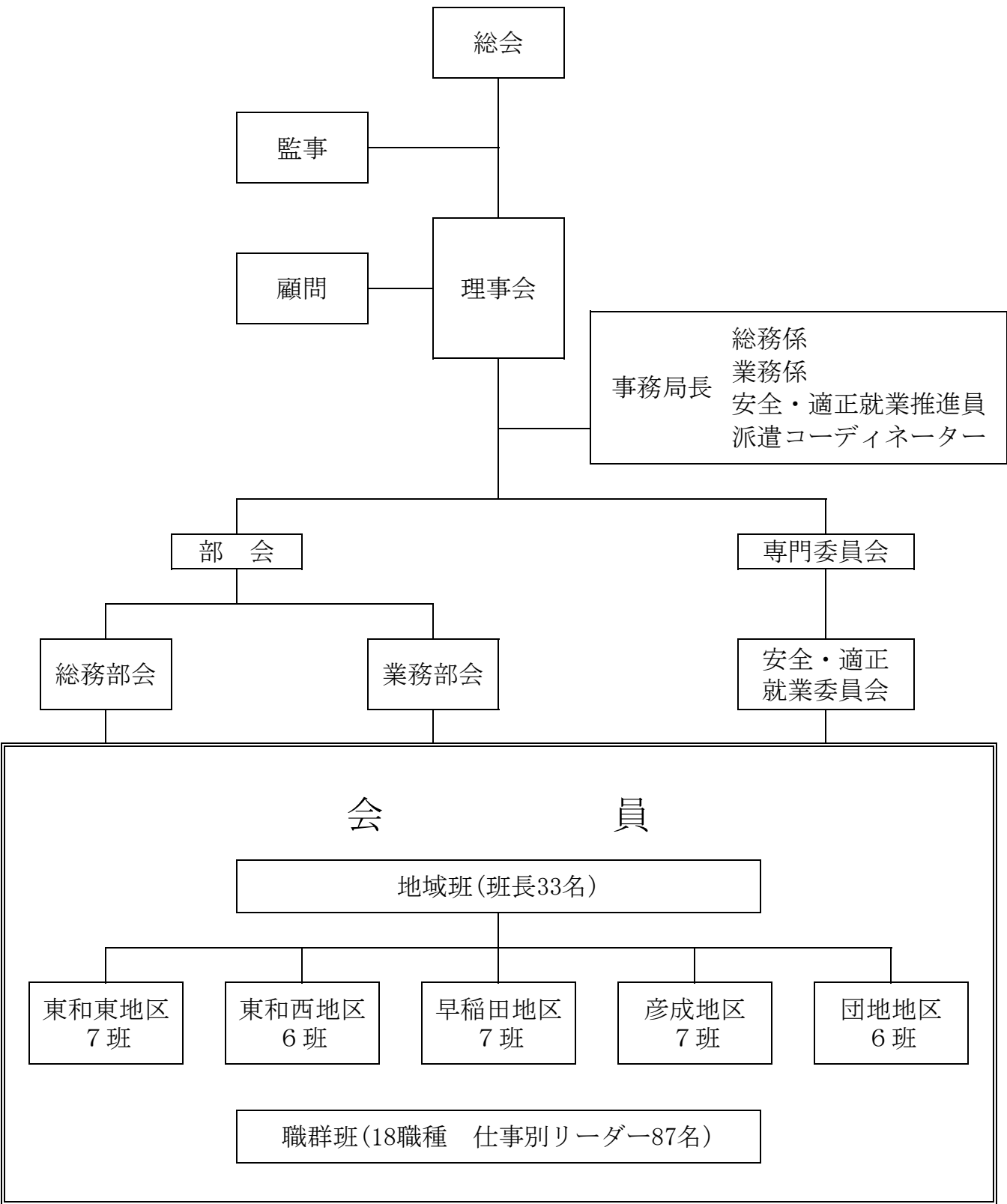
会員退会理由

	病気 (本人)	シルバー 事業を通 じて就 業	その他 で就職	死亡	転居	希望す る仕事 なし	就業機 会なし	家庭の 事情 (介護等)	会費未 納	加齢	他団体 等への 加入	セン ター運 営に対 する不 満	未回答 (不明)	その他	合計
平成27年度	40	1	20	11	10	12	4	17	7	19	0	3	6	26	176
平成28年度	51	0	21	7	10	19	6	13	6	23	1	5	15	13	190
平成29年度	30	1	16	4	7	10	3	11	4	19	0	2	1	9	117
平成30年度	51	1	29	7	10	6	5	18	6	22	1	3	8	21	188
令和元年度	31	0	12	8	4	13	4	11	12	16	0	2	3	8	124
令和2年度	40	0	9	4	3	10	4	17	11	28	0	1	1	12	140

(人)



公益社団法人三郷市シルバー人材センター組織図



令和3年4月 1 日現在

中長期計画（後期計画）策定委員会名簿

（順不同・敬称略）

職 名	氏 名	備 考
委 員 長	市川 文雄	理事 総務部会部会長 安全・適正就業委員会委員
副委員長	岡本 正	理事 総務部会副部会長
委 員	松島 健次	理事長 総務部会
委 員	田上 嘉一	理事 総務部会
委 員	鐘水 美津子	理事 総務部会
委 員	齋藤 衣子	専務理事 総務部会 業務部会

（令和２年９月３０日現在）

中長期計画（後期計画）策定懇話会出席者名簿

（順不同・敬称略）

職 名	氏 名	備 考
懇話会委員	岩田 淳	副理事長 業務部会部会長 安全・適正就業委員会委員長
懇話会委員	渡辺 定夫	理事 業務部会副部会長 安全・適正就業委員会副委員長
懇話会委員	沼野 次男	理事 業務部会 安全・適正就業委員会委員
懇話会委員	目黒 正明	理事 業務部会 安全・適正就業委員会委員
懇話会委員	市村 よし子	理事 業務部会 安全・適正就業委員会委員
懇話会委員	岡本 正	地域班班長 理事
懇話会委員	吉野 正人	地域班班長
懇話会委員	中村 健三	職群代表リーダー
懇話会委員	齋藤 衣子	専務理事 総務部会 業務部会

（令和２年１０月２１日現在）



公益社団法人三郷市シルバー人材センター

〒341-0041 三郷市花和田638-1

(三郷市健康福祉会館内)

電話 ☎ 048-952-0866

FAX 048-952-0949

メールアドレス misato@sjc.ne.jp

ホームページ <https://www.misato-sc.or.jp>